

もりふれ倶楽部通信 NO.5 1

コナラが支える生物多様性

NPO法人もりふれ倶楽部

理事 池田 友紀

古いも若きも、見つけたら拾わずにはいられないもの、どんぐり。拾い始めると、ついつい夢中になってしまうのはなぜなのか？それは、日本人がはるか昔、縄文時代にどんぐりを食料にしていたころのDNAがそうさせるのでは・・・？

などと全く根拠のない想像をしつつ、私自身も見つけたらついつい拾ってしまうのですが、みなさんはどうでしょうか。

さて、今回のテーマはどんぐりの成る木のひとつ、「コナラ」です。いわゆる“どんぐりの木”と呼ばれるのは、ブナ科の樹木を総称したものであり、『どんぐりハンドブック・いわさゆうこ・文一総合出版』によれば、約20種が日本で見られ、世界中では850種もの種数があるとされています。

ちなみに、このブナ科にはクリも含まれますので、あまり自覚はないのですが、私たちは現代でもどんぐりを食べているといえます。

そんなブナ科のひとつであるコナラ (*Quercus serrata*) は沖縄県をのぞく日本全土に分布し、日当たりのよい山林でふつうに見ることができる、私たちにとって身近な“どんぐりの木”のひとつと言えます。

地方によっては「ハハソ、ナラ、ナラシバ、ホウソ、ホソ」などの地方名がいくつかあることから、人との生活に深い関わりがあったことがうかがえます。「コナラ」という名は、ミズナラの別名オオナラに比べて葉が小さいので、「小櫓」とよばれたことからきているそうですが、では「櫓(ナラ)」の語源は・・・？という疑問が浮かび上がってきますが、今のところ調べきれれておりません。ご存知の方がいらっしゃいましたら、ぜひご教示ください。



いろいろなどんぐり(コナラは上段左から4番目)

出典:)http://www.enyatotto.com/donguri/images/donguri_top.jpg

ところで、穴が開いているのは避けて捨ったはずのどんぐりも、持ち帰ってしばらくするといつの間にか穴があいて、中から虫がでてきた！なんて経験をした人もいます。

これはゾウムシとよばれる甲虫の仲間、ハイイロチョッキリやシギゾウムシなどの幼虫です。どんぐりの実が熟す前の8月ごろに穴をあけて、その中に卵を一つ産み付けているのです。どんぐりの中で卵から孵った幼虫は、中身の子葉部分を食べて大きくなり、さなぎになる頃に穴を開けて出てきて、土に潜って蛹化するのです。この幼虫もよくよく観察すると、ちゃんと足が6本あり、小さな目もあるのが分かるので、「気持ちわる～い」だけで終わらずに、機会がありましたら観察してみてください。



ハイイロチョッキリ

出典:) <https://green.xgoo.jp/cdn/life/unno/diary/image/200308/1062066691.jpg>

コナラをふくめたこのどんぐり、こうした昆虫だけでなく、たくさんの動物に好まれています。どんぐりを食べる動物といえば、リスやネズミのイメージが強いですが、ツキノワグマ、イノシシ、タヌキ、ムササビ、ニホンザルなどの哺乳類のほか、カケスやオシドリなどの鳥類も好んで食します。

とくに、リスやネズミ、カケスなどは「貯食」といって、秋にどんぐりをせっせと集めて土の中に埋め、冬に掘り出して食べる、という行為を行ないます。埋めた場所を忘れてたりして食べられることのなかったどんぐりは、そのまま冬を越し、春になると芽を出すことができます。どんぐりは食べられるだけでなく、動物の失敗を利用して子孫をふやす方法もとっているのです。(ただし、クヌギの場合は、この話にあてはまらないようです。)

そのほかにも、コナラはどんぐりだけでなく、葉にもいろいろな昆虫が集まってきます。コナラの葉を食べる昆虫は多く、オトシブミ、アカスジキンカメムシ、ナナフシ、オオミズアオ、クスサン、アカシジミなどがあり、葉に卵を産み付け、幼虫はその葉を食べて大きくなります。

さらに、コナラの木そのものを食べる昆虫、シロスジカミキリもいます。このカミキリは強力なあごで木の幹に穴を開け、その中に卵を産み付けます。幼虫は幹の中で木材(セルロース)を食べ、3~4年かけて成虫になります。薪割りをしていて、白い大きな幼虫が出てくることがありますが、それがこの幼虫で、日本ではテッポウムシと呼ばれています。



シロスジカミキリ

出典:) http://kids.xgoo.jp/image_tool/zukan/insect/k057.jpg

余談ですが、古代ローマではこの幼虫はコックスとよばれ、高級なごちそうだったそうです。ファーブル昆虫記にも登場していますので、興味のある方はご一読ください。

このカミキリが開けた穴は木の持つ防御機構がはたらき、やがて修復されるのですが、その穴を利用して、ボクトウガの幼虫が入り込んだりします。コナラにとっては迷惑千万でしょうが、ボクトウガは穴の周辺をかじり続け、樹液を滲出させているのです。

この樹液を求めてカブトムシやクワガタ、チョウ、スズメバチ、その他多くの昆虫が集まります。肉食であるボクトウガの幼虫は、その樹液に集まってくる小型の昆虫を食べるというわけです。

このように、コナラの木 1 本をみただけでも、多種多様な生きものが生息する「生物多様性」と、生きもの同士のつながり「生態系」があることがわかります。

私たち日本人も、昔から燃料の薪や炭にするほか、シイタケ栽培のほだ木として、コナラを利用してきました。特に島根県ではたたら製鉄が盛んだったこともあり、多くの材を必要とし、頻繁に伐採が行われていました。

しかし、コナラは切り株から萌芽する萌芽更新が容易な樹種であり、森林の再生が行われ、伐ったあと 15 年から 20 年もすればまた材を得ることができました。こうして続いてきた人とコナラの営みですが、生活様式の変化によって薪や炭の需要はなくなり、コナラを伐採することもなくなりました。

こうして放置されたコナラはどんどん年齢をとり、県内では 60 年生あまりのコナラが多くなってきています。そうした老齢木のコナラに、カシノナガキクイムシが入り込むことが原因によるナラ枯れが猛威をふるい、問題となっています。

コナラが枯死し、その森林からなくなってしまうと、その実や葉、材や樹液を頼りに生息していた多くの生きものたちにも影響がでてきます。

人が伐採を繰り返し、手を入れてきた森林の方が、手つかずの自然林より生物多様性が豊かだという一例でもあります。

こうした問題を解決するために、なんとか森林再生を図り、自然を守りたい、との思いを持つ人は多いのですが、人々の生活の場から遠ざかり、手入れがおろそかになった雑木林を再び手入れし、維持するのは並大抵のことではありません。

では、「わたしたちができること」は？と、考えるときのヒントが“生物多様性条約”の中に組み込まれていますので、「何かしたい！」と思われた方は「MY 行動宣言」で検索してみてください。

私個人は、どんな行動をするにしろ、なにはともあれまずは「知ること」が大事だと考えています。どنگりひとつをとってみても、少し調べれば多くのことを知ることができます。これからまたどنگりを拾うことがあれば、「このどنگりの木にはどんな生きもののつながりが？」などと思いを馳せつつ、どنگりの森を散策してみれば、また新たな発見があるかもしれません。



池田友紀さんは、もりふれ倶楽部の理事であるとともに、プロのネイチャーガイドとして活躍中です。昨年度から、もりふれ倶楽部の看板講座である「里山自然塾」で、中村正志氏とともにレギュラー講師を務めています。

平成28年度 もりふれ倶楽部の歩み

10月26日(水) みもスクール 第2回 高山小学校

大田市立高山小学校において、第2回みもスクールを開講しました。今回の対象1~2年生14名で、最初に森の中に入る前に、危険動植物の話聞き、島根県森林インストラクターの中村正志氏等の指導で、高山小学校の学校林の中に入って探検をしました。教室に戻り島根県森林インストラクターの野々村俊成等が「木切れ工作」の指導を行いました。 指導 中村正志、野々村俊成、藤原人美



10月27日(木) しまね森づくり Kommission 出前講座26 (吉田小学校)

益田市立吉田小学校において、5年生96名に対して、「森林保全の大切さ」の講義、2年生93名に対して「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を行いました。 指導 野田真幹、高濱実樹恵、滝川麻衣

10月28日(金) みもスクール 第2回 母衣小学校

松江市母衣小学校5年生等66名に対して、第2回みもスクールを2クラス、午前・午後交代で実施しました。内容は奥出雲町にて「シイタケ生産現場の見学・間伐体験」、ふるさと森林公園にて「ネイチャートレッキング体験・樹木学習」でした。雨が降ったり止んだりの生憎の天気でしたが、みんな楽しく学習できました。指導 野田真幹、野々村俊成、響繁則、中村正志、服部恵子、藤原人美、小林玲子、宮崎徳子



10月29日(土) 20日(日) 安全作業のためのチェーンソー研修

山林所有者等2日間で延べ40人を対象とした益田市主催の「安全作業のためのチェーンソー技術研修」の企画・運営を行いました。

指導 遠藤正資、坂越浩一、滝川麻衣 コーディネーター野田真幹、
スタッフ 世良律子

10月29日(土)~30日(日) 林研女性部技術研修

NPO法人ジットネットワークサービスの石垣正喜理事長を講師に迎え、島根県林業研究グループ連絡協議会の女性会員等を対象に、安全なチェーンソーワークの技術・技能研修を開催しました。 講師 石垣正喜 スタッフ 高濱徹



11月1日(火) 江津東小学校対応

江津市立江津東小学校3,4年生39名に対して、島根県森林インストラクターにより、樹木観察の指導を行いました。

指導 中村正志、長尾和秀、池田友紀、宮崎徳子

11月4日(金) 出雲西高等学校対応(かんば生命保険寄付プログラム)

出雲西高等学校、環境福祉コース2年生37名に対して、雲南市立西小学校学校林「いわくまの森」において、枝打ち体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村利成、中村正志、滝川麻衣、池田友紀、宮崎徳子



11月5日(土) 出雲西高等学校インターアクトクラブ対応

サン・レイクを会場に、島根県インターアクトクラブ指導者講習会において、森の大切さについての講習と、間伐材を使った紙漉き体験、ネイチャーゲームの指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、池田友紀、藤原人美、宮崎徳子



11月6日(日) 第7回里山自然塾

「第7回里山自然塾～秋の里山で、ツルかご編みと究極の焼き芋を楽しむ!」を開催しました。参加者20名は、島根県森林インストラクターの中村正志氏、野々村俊成氏の指導で、フジやアケビのつるを使いかご作りに挑戦しました。

講師 中村正志、野々村俊成 スタッフ 藤原人美 米原久人(松江市職員)松本瑠美子(松江市職員)

11月7日(月) み~もスクール 第4回 西小学校

雲南市立西小学校4年生32名に対して、第4回み~もスクールとして、「ヒノキの皮から和紙づくり体験」を実施しました。



指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、藤原人美



11月8日(火) 出雲西高等学校対応

飯南町来島の山林において、出雲西高等学校環境福祉課コース38名に対して、「森林・林業体験」として、「間伐体験」「集材体験」の指導と、森の名手、名人響繁則氏の農林業についての講義を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、響繁則、中村正志、影山栄一、宮崎徳子

11月9日(水) 出雲商業高等学校対応

出雲商業高等学校において、商業美術科の3年生13名に対して、森林環境の活用の講義とシイタケ原木用の木の伐採体験を行いました。

指導 野田真幹、中村正志、宮崎徳子



11月10日(木) み~もスクール 第3回 布部小学校

安来市立布部小学校において、第3回み~もスクールを開講しました。今回の対象1~2年生5名に対して、シイタケ名人と森の話、木の実工作、シイタケの植菌と伏せ込みの指導を行いました。指導 野田真幹、野々村俊成、藤原人美

11月12日(土) 出雲西高等学校インターアクトクラブ対応(かんぽ生命保険寄付プログラム)

出雲西高等学校、インターアクトクラブ11名に対して、雲南市立西小学校学校林「いわくまの森」において、枝打ち体験の指導を行いました。

指導 中村正志、福岡茂明、滝川麻衣、野田真幹、藤原人美



11月13日(日) 松江市環境フェスティバル

くにびきメッセを会場に、「松江市環境フェスティバル」が開催され、もりふれ倶楽部も「竹を使った工作」を通して、身近な里山や森林の大切さを考えてもらうコーナーを出展しました。指導 岡田邦博、長野和秀、中村正志、藤原人美

米原久人(松江市職員)松本瑠美子(松江市職員)

11月13日(日)松江市立出雲郷保育園対応

松江市立出雲郷保育園において、島根県企業局の森づくり(源流地域保全支援事業)親子活動「うぐいすやまへGO!」を園児と保護者約200名に対し、式典の後、小グループに分かれて、うぐいす山へ入って植樹をしながら散策と、竹を使った「ガリガリプロペラ」作りの指導を行いました。

指導 野田真幹、中村正志、福岡茂明、三枝綱一、三枝共子、内田百合子
妹尾明美、森下美津子、伊藤志美恵、野田あや子、宮崎徳子、米原久人(松江市職員)
松本瑠美子(松江市職員)



11月14日(月)しまね森づくり Kommission 工前講座 27(八雲中学校)

松江市八雲中学校1年生71名に対して、森の大切さの講義と植樹をする前の事前学習を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



11月18日(金)み~もスクール 第3回 高山小学校

大田市立高山小学校において、第3回み~もスクールを開講しました。今回の対象5~6年生9名に対して、「原木シイタケの植菌と伏せ込」と「間伐材の和紙づくり」を行いました。指導 野田真幹、野々村俊成、藤原人美

11月19日(土)第8回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第8回大人のための自然観察会を開催しました。指導 中村正志



11月20日(日)県民の森 憩い講座

県民の森 第4回 里山の憩い講座「晩秋、冬眠前の森で火と憩いの1日を過ごす」を実施しました。

指導 野々村俊成、中村正志、藤原人美

11月20日(日)地SUN地SHOW祭り対応

くにびきメッセを会場に、「第32回地SUN地SHOW祭り」が開催され、もりふれ倶楽部も「コケ玉づくり」、「木切れ自然工作」を通して、身近な里山や森林の大切さを考えてもらうコーナーを出展しました。

指導 伊原千里、福岡茂明、三枝共子、宮崎徳子



11月21日(月)安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校において、全校児童に対して、「森林保全の大切さ」の話と、間伐・枝打ち等の森林整備体験の指導を行いました。

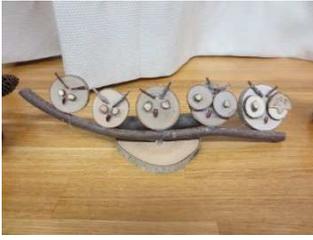
指導 野田真幹、野々村俊成、福岡茂明、藤原人美

11月22日(火)飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校 3、4年生23名に対してシイタケ植菌体験、5、6年生22名に対して間伐体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、響繁則、野々村俊成、池田友紀、服部恵子、宮崎徳子





11月22日(火)しまね森づくり Kommission 出前講座 28 (高尾小学校)
 奥出雲町立高尾小学校において、全校児童9名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を行いました。
 指導 野田真幹、宮崎徳子

11月23日(水・祝)森林ボランティア(楽山公園)

松江市楽山公園において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、松江環境市民会議のメンバーと竹の整備を行いました。

メンバー 野田真幹、野々村俊成、長野和秀、竹田正彦、福岡茂明、橋本守庸
 宮崎徳子、米原久人(松江市職員) 松本瑠美子(松江市職員)



11月24日(木)安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校5,6年生9名に対して、森林保全の講義、間伐体験、ナメコの植菌の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、響繁則、池田友紀、藤原人美

11月28日(月)出雲西高等学校対応(かんぼ生命保険寄付プログラム)

出雲西高等学校、環境福祉コース3年生36名に対して、雲南市立西小学校学校林「いわくまの森」において、枝打ち体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、長野和秀、滝川麻衣、池田友紀
 宮崎徳子



11月29日(火)み~もスクール 第4回 布部小学校

安来市立布部小学校において、第4回み~もスクールを開講しました。今回の対象5~6年生9名に対して、間伐体験、人工林の間伐の大切な話と和紙作り体験の指導を行いました。 指導 野田真幹、野々村俊成、藤原人美

12月3日(土)第9回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第9回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

12月4日(日)第8回里山自然塾

「第8回里山自然塾~里山素材のリースを作ろう!(かわいい木の実どうぶつ作り付き)」を開催しました。参加者21名は、事前に用意したツルを巻いてから、公園内を散策しながらリース材料を採集し、リース作りに取り組みました。

講師 影山和美、野々村俊成、中村正志、池田友紀 スタッフ 宮崎徳子



12月5日(月)み~もスクール 第5回 西小学校

雲南市立西小学校4年生32名に対して、第5回み~もスクールとして、「森林保全の大切さの講義」と「巣箱の付け替え」を実施しました。

指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、藤原人美



12月9日(金)み～もスクール 第3回 母衣小学校

松江市母衣小学校5年生59名に対して、第3回み～もスクールとして「ヒノキの和紙作り体験」指導を行いました。

指導 野々村俊成、福岡茂明、藤原人美、宮崎徳子

12月11日(日)飯南町研修研修

飯南町主催「安全技術作業講習会」目立てからはじまるチェーンソーワーク基礎、丸太を使った大切なチェーンソーワーク実習、立木を伐木造材する実習の研修を企画・運営しました。

講師 遠藤正資他 コーディネーター 野田真幹 スタッフ 服部恵子



12月14日(水)出雲商業高等学校対応

出雲商業高等学校において、デザイン科の3年生に対して、森の名手名人の響繁則氏からシイタケ生産、循環型農業の話聞き、前回の授業で伐倒した木をホダ木にして、シイタケ植菌、伏せ込み体験の指導を行いました。

12月16日(金)出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース2年生に対して、環境の授業の中で、「自然工作と自然体験活動」と題しての講義と体験コーナーでネイチャーゲームリーダーの野田真幹氏等によりネイチャーゲームの体験指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



12月17日(土)里山食べごと塾 第1回

「よみがえる島根の食事・里山食べごと塾」4回シリーズの第1回、「宍道湖・中海編」として、中海で採れる赤貝を使った「赤貝ご飯」、宍道湖七珍の中から2品、「せいごと大根の煮物、鯉こく」、また、春の海からの恵みを冬場で生かす「あらめの煮物」、仏事のお供え物とされてきた「ぼたもち」をみんなで楽しく調理して味わいました。講師 藤原ひとみ スタッフ 小林玲子、玉木麗子

12月18日(日)飯南町研修対応

飯南町主催「安全技術作業講習会」目立てからはじまるチェーンソーワーク基礎、丸太を使った大切なチェーンソーワーク実習、立木を伐木造材する実習の研修を企画・運営しました。

講師 遠藤正資他 コーディネーター 野田真幹 スタッフ 服部恵子



1月8日(日)第9回里山自然塾

「第9回里山自然塾～春の七草と新春のヒノキ和紙づくり」を開催しました。参加者26名は、島根県森林インストラクターの中村正志氏から春の七草を学び、ネイチャーガイドの池田友紀氏より、春の七草のひとつ「セリ」についての話を聞き、

近くのフィールドを散策した後、玄米を使った七草粥をいただきました。午後からは、島根県森林インストラクターの小笠原哲郎氏の指導で、スギで和紙を作りました。

講師 中村正志、小笠原哲朗、池田友紀 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子

1月8日(日)第10回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第10回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

1月17日(火)しまね森づくりコミッション出前講座29(湖陵小学校)

出雲市立湖陵小学校において、3年生45名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を2クラスに分かれて行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



1月18日(水)しまね森づくりコミッション出前講座30(出雲郷小学校)

松江市立出雲郷小学校特別支援学級4名に対して「木切れ工作」の指導を行いました。 指導 藤原人美、宮崎徳子



1月20日(金)しまね森づくりコミッション出前講座31(真砂小学校)

益田市立真砂小学校において、全校児童13名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「飾り炭づくり」の指導を行いました。

指導 野田真幹、高濱実樹恵



1月23日(月)しまね森づくりコミッション出前講座32(木部小学校)

津和野町立木部小学校において、全校児童15名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、高濱実樹恵

1月24日(火)しまね森づくりコミッション出前講座33(南中学校)

出雲市立南中学校1年生30名に対して、森の大切さの講義とシイタケの植菌をする前の事前学習を行いました。 指導 野田真幹、藤原人美



1月25日(水)出雲農林高等学校対応

島根県立出雲農林高等学校において、環境科学科1年生37名に対して、「森の名手・名人響繁則氏のシイタケ生産と森林保全の大切さについて」の講義と、森の名手・名人響繁則氏より「響方式の原木シイタケ生産について」の話をした後、植菌実習とホダ木の伏せ込みの指導を行いました。

指導 野田真幹、響繁則、野々村俊成、宮崎徳子



1月29日(日)飯南町研修対応

飯南町主催「安全技術作業講習会」目立てからはじまるチェーンソーワーク基礎実習の研修を企画・運営しました。

講師 遠藤正資 コーディネーター 野田真幹 スタッフ 服部恵子



1月31日(火)出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース38名に対して、環境の授業の中で、森林保全の講義と草木染めの指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、宮崎徳子

2月2日(木)しまね森づくり Kommission 出前講座 34 (三刀屋小学校)

雲南市立三刀屋小学校 5年生 46名に対して、森の大切さの講義を行いました。 指導 野田真幹、宮崎徳子



2月5日(日) 楽山公園散策

楽山公園において、まつえ環境市民会議のメンバーと一緒に自然散策を行いました。 指導 中村正志、野田真幹、福岡茂明、

2月10日(金) 大田市立久手小学校対応

大田市立久屋小学校 3, 4年生 16名に対して、牛乳パックとスギの皮を混ぜた紙漉きの指導を行いました。

指導 野田真幹、藤原人美、宮崎徳子



2月16日(木)しまね森づくり Kommission 出前講座 35 (中西小学校)

益田市立中西小学校 1, 2年生 34名に、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」指導、3, 4年生 38名に「森林保全の大切さ」の講義と「和紙作り体験」の指導をおこないました。 指導 野田真幹、高濱実樹恵、藤原人美

2月18日(土)~19日(日) スキルアップ研修対応

(一社) 島根県森林協会主催の「島根県森林インストラクター・スキルアップ研修」の企画・運営をサポートさせていただきました。

指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志



2月25日(土) 里山食べごと塾 第2回

よみがえる島根の食事・里山食べごと塾」4回シリーズの第2回、「出雲平野編」として、出雲平野は県内随一の穀倉地帯として、物を大切に作る代表的な米の文化を3種類のメニューにして、昔ながらの味を味わいました。

講師 藤原ひとみ スタッフ 内田百合子

2月26日(日) 第11回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第11回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

2月27日(月) 松江市立本庄小学校対応

松江市立本庄小学校 4年生 14名に対して、森林保全の大切さの話と紙漉き体験の指導を行いました。 指導 野田真幹、藤原人美、宮崎徳子



2月28日(火) 出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース 38名に対して、環境の授業の中で、島根県森林インストラクターの野々村俊成氏の人生談の話と木の実工作の指導を行いました。 指導 野々村俊成、宮崎徳子

3月4日(土) 里山食べごと塾 第3回

よみがえる島根の食事・里山食べごと塾」4回シリーズの第3回、「奥出雲編」として、奥出雲にはまぶ(横穴式貯蔵庫)で年中貯蔵された芋や野菜、塩漬けた山菜や乾物のキノコなど食の豊かさがあり、それらを使った素朴な味を味わいました。講師 荒砂喜久江、藤原ひとみ スタッフ 土山幸延、内田百合子



3月5日(日) 第11回里山自然塾

「第11回里山自然塾～燻製・ドラム缶窯ピザから小さな里山バイオマス循環を考える」を開催しました。参加者25名は、なら、サクラを使った本格的な燻製作りと家庭で出来る簡単な燻製作りを学び、ドラム缶窯でつくるピザをおいしくいただきました。講師 野々村俊成、中村正志、竹田正彦、池田友紀
スタッフ 藤原人美、宮崎徳子

3月10日(金) 出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース38名に対して、環境の授業の中で、森林保全の大切さの講義と飾り炭作りの指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、宮崎徳子



3月11日(土) 松江市上下水道局対応

出雲西高等学校インターアクトクラブの生徒達に「森林と水源の大切さを考える」問題定義後グループでディスカッションをし、記念植樹と自然観察会をおこないました。指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、青木宜雄

3月12日(日) 森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議対応

奥出雲町阿井地区において、森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議東部研修を開催しました。出雲西高等学校の生徒が多数参加しました。

講師 野田真幹、響繁則、野々村俊成、池田友紀



3月19日(日) 里山食べごと塾 第4回

よみがえる島根の食事・里山食べごと塾」4回シリーズの第4回、「石見山間地編」として、冬期100日前後雪に埋もれる匹見の、体の温まるごちそうごはんと鍋を作り味わいました。

講師 村上巴、藤原ひとみ スタッフ 内田百合子、吉川奈月

3月20日(祝・月) 第10回里山自然塾

「第10回里山自然塾～昔ながらの和ろうそくづくり」を開催しました。参加者17名は、島根県森林インストラクターの中村正志氏からハゼの実からろうそくが出来るまでの工程を聞いてから、公園内を散策した後、ハゼの実からろうそくを取り、ろうそくが出来るまでの工程を実際に体験し、一人一本持って帰られました。

講師 中村正志 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子



もりふれ倶楽部今後の予定 2017 4月～8月

4月8日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：苗木のツル切と補植
9時50分 道の駅おろちの里集合～会場は湖を見下ろす場所
参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・鎌・鍬等
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

4月22日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。
参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

4月22日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：枝打ち
9時50分 安来市立赤屋小学校駐車場集合
参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・枝打ち鋸
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

4月23日(日) 9時～17時 森の健康診断(大田市温泉津町)
8時50分 集合 温泉津まちづくりセンター 2階第2会議室
参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費500円
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・昼食・飲み物
お申し込み先：FAX 0854-82-5683 電話 090-6402-5242
担当：伊藤 様 記載事項～住所・氏名・生年月日・電話・FAX

4月30日(日) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：竹の伐採と筍堀り
9時50分 楽山公園テニスコート下駐車場集合
参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・枝打ち鋸・鍬
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

5月3日(祝・水) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：枝打ち

9時50分 安来市立赤屋小学校駐車場集合

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・枝打ち鋸

前日正午まで申し込め受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方をご相談ください。

5月4日(祝・木) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

5月4日(祝・木) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：枯損木の伐倒と片付け

9時50分 大田市立高山小学校

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・枝打ち鋸

前日正午まで申し込め受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方をご相談ください。

5月5日(祝・金) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：枯損木の伐倒と片付け

9時50分 大田市立高山小学校

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・枝打ち鋸

前日正午まで申し込め受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方をご相談ください。

5月6日(土) 13時30分 会員研修会 13時30分 「ドローンを活用した森林調査」

(株)国土防災技術執行役員 田中賢治 氏

「ツキノワグマと同じ時代に生きることの幸せ」

ネイチャーガイド 池田友紀 氏

総会 15時10分

5月7日(日) 10時～15時 第1回 里山自然塾「山菜や野草を食べ、里山を考える！」

参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～飲み物・昼食(主食になるものは持参)定員25名(申し込み順)

- 5月14日(日) 10時~15時 森林ボランティア1日限りの作業班：竹の伐採と筍掘り
9時50分 楽山公園テニスコート下駐車場集合
参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・枝打ち鋸・鍬
前日正午まで申し込め受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。
- 5月20日(土) 10時~15時 森林ボランティア1日限りの作業班：苗木のツル切と下刈り
9時50分 道の駅おろちの里集合~会場は湖を見下ろす場所
参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・刈り払い機・鎌等
前日正午まで申し込め受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。
- 5月21日(日) 10時~15時 第1回飯南町県民の森「里山の憩い講座」
「新緑の森の散策、野草の天ぷらを食し野草茶を飲む、クロモジの爪楊枝づくり」
参加者募集中：参加費500円 場所：県民の森木工室
持ち物~飲み物・昼食 定員20名(申し込み順)
- 6月18日(日) 10時~15時 第2回 里山自然塾「野草茶と笹巻きづくり」
参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物~飲み物・昼食 定員25名(申し込み順)
- 6月24日(土) 10時~15時 森林ボランティア1日限りの作業班：苗木のツル切と下刈り
9時50分 道の駅おろちの里集合~会場は湖を見下ろす場所
参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・刈り払い機・鎌等
前日正午まで申し込め受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。
- 6月25日(日) 10時~15時 体験イベント「ツキノワグマと同じ時代に生きている幸せ」
直接現地の方：9時50分 来島公民館集合(Aコープ来島店の隣り)
送迎バス利用者(無料)：8時15分 県庁郵便局前
9時 ふるさと森林公園学習展示館前
参加者募集中：参加費1,000円 昼食代込
内容：1. ツキノワグマと人との境界づくり作業
2. アウトドアクッキング(雨天時は室内)
3. ネイチャーガイドの講演会と高校生の活動紹介

定員 25名 但し送迎バスの利用は20名まで

7月1日(土) 10時~15時 森林ボランティア1日限りの作業班:竹の伐採片付け

9時50分 楽山公園テニスコート下駐車場集合

参加者募集中:1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・枝打ち鋸・鍬

前日正午まで申し込め受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

7月2日(日) 午前の部10時~12時 午後の部13時~15時

市民参加の楽山公園森林ボランティアイベント

公園を暗くしている常緑樹の除伐とドラム缶窯ピザを楽しむ

集合~楽山公園テニスコート駐車場 午前の部 10時 午後の部 13時

参加者募集中:無料 定員午前・午後 各15名(申し込み順)

7月8日(土) 里山食べごと塾「斐伊川の上流から宍道湖・中海まで」 第1回 奥出雲編

直接現地の方:9時40分 道の駅おろちの里

送迎バス利用者(無料):8時 県庁郵便局前

8時40分 ふるさと森林公園学習展示館前

参加者募集中:参加費1500円 昼食代込 定員20名

1. 現地を旅して、水源の水をいただき「水源と森の話し」を聞く
2. 地元の有機野菜でイタリア風料理を、デザートには、人気のブルーベリーも
3. 里山式熾火料理も登場、農村の秘伝おいしい調理の秘密

7月9日(日) 10時~15時 第3回 里山自然塾「サクラの枝でミニチェアづくり」

参加者募集中:参加費500円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物~飲み物・昼食 定員20名(申し込み順)

7月15日(土) 10時~15時 森林ボランティア1日限りの作業班:布部小竹林整備

参加者募集中:1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・鋸等

集合場所:安来市立布部小学校駐車場

前日正午まで申し込め、お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

7月17日(月・祝) 10時~15時 森林ボランティア1日限りの作業班:江津東小・下刈り

参加者募集中:1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・刈り払い機・鎌等持参ください。

集合場所～江津東小学校駐車場

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

8月5日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：布部小竹林整備

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・鋸等

集合場所：安来市立布部小学校駐車場

前日正午まで申し込を、お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

8月6日(日) 10時～15時 第4回 里山自然塾「大人も子どもも里山で夏休み！竹筒ご飯カレーと虫やどうぶつのワンダーランドづくり」

参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～飲み物・昼食 定員25名(申し込み順)

8月20日(日) 10時～15時 飯南町県民の森「木工講座」

「間伐材の丸太で動物をつくる！」

参加者募集中：参加費500円 場所：県民の森木工室

持ち物～飲み物・昼食 定員20名(申し込み順)



平成25年度の森林ボランティア夏の下刈り後の記念写真



平成18年度 宍道湖中海ラムサール条約記念植樹後の記念写真

最近、森林ボランティアの参加者が少数です！
専門的な力だけが必要なわけではありません。
あなたの「こころ」を是非、森へ向けてみてください！
次世代へ、素敵な「学びの森」を残せるように、
森林ボランティア活動にご協力ください！
その他のイベント参加も大歓迎です！

もりふれ倶楽部14年目のスタートです。

初心を思い返してみましよう！ H29.4.1.

NPO法人もりふれ倶楽部通信NO.51

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

[メール morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

[ホームページ http://www.morifure.jp/](http://www.morifure.jp/)